

津島市まち・ひと・しごと創生総合戦略掲載事業進捗状況表

資料3

(1)若い世代の結婚・出産・子育てを応援する

(1)-1 津島市で子育てしたくなる環境づくり

番号	事業	概要	平成27年度 実施状況	平成27年度実績 (未実施の場合はその理由)	KPI (重要業績評価指標)	実績値 (H27)	総合戦略 策定時	目標値 (H31)	平成27年度事業評価	平成28年度の取組	備考
1	子育て応援券の発行	一時的保育、病児・病後児保育などの育児サービスの利用や、チャイルドシート、おむつ等の購入、予防接種費用などに使える子育て応援券を交付し、育児にかかる経済的負担等の軽減を図る。	実施(検討)中	H27.4.1以降に生まれた児童及びその保護者に対し、心理的・身体的・経済的負担の軽減を図るため、子育て支援サービスの活用利用できる「つしま子育て応援券」を交付した。	-	-	-	-	赤ちゃん訪問時に対象者に子育て応援券を配布し、任意の予防接種やおむつの購入等に利用してもらい、子育て世代への支援が実施できた。	引き続き応援券を配布する。また、次年度以降の実施方法の検討のために利用者アンケートを実施する。	
2	子育て支援センターの機能強化	親子交流の場や育児相談、子育てに関する情報提供を行う拠点として、土日の開館体制を整える。	実施(検討)中	H27.4月から東地区子育て支援センターの日曜日開所を実施した。西地区子育て支援センターは、H28.4月から土日開所を実施した。	子育て支援センター利用者延人数(人)	20,276	16,508	17,500	子育て家庭に対する相談指導、子育てサークルへの支援、地域の保育資源の情報提供等を実施し、子育て家庭への育児支援が実施できた。	子育て支援センターの活動内容の充実及び市民周知を図る。	
3	子育て世代包括支援センターの設置	妊娠期から子育て期にわたる総合相談、支援等をワンストップで提供できる体制を整える。	実施(検討)中	子育て世代包括支援センター開設に向けての情報収集に努めた。	-	-	-	-	子育て世代包括支援センター開設に向けて、人員配置や必要経費について、情報収集に努めた。	29年4月の子育て世代包括支援センターの設置を目指し、関係機関と調整を図る。	
4	ファミリー・サポート・センター事業	子どもの送迎や一時預かり、病児・病後児預かりなど、依頼会員と提供会員の相互協力により、子育ての支援を行う。	実施(検討)中	未就園児の預かり、園児の登降園の援助預かり・援助、小学生の登下校の援助・習い事に関わる援助、産前産後の家事支援を実施した。	ファミリーサポートセンター利用者延数(人)	879	1,052	1,500	ファミリー・サポート・センター事業の周知に努めたが、前年度より利用者が減少した。	ファミリーサポートセンター事業の利用拡大を図る。	
5	子どもに対する医療費助成	子どもの入院・通院医療費の自己負担分の助成や所得の低い世帯、治療が長期にわたり高額となる小児慢性特定疾病患者に対して医療費を助成し、子どもの健全な育成と保護者の経済的負担の軽減を図る。	実施(検討)中	小学校3年生までの通院医療費助成を実施(入院は中学3年生まで)した。平成27年8月から小児慢性特定疾病に係る医療費助成制度を実施した。	-	-	-	-	【小学3年まで市単独分】 年度末受給者数1,860人(前年1,927人) 医療費支給件数24,694件(前年16,319件) 支給額53,328千円(前年33,153千円) *平成26年8月から小学3年生の年度末まで通院分の拡大実施により件数・金額とも対前年比増加 【小児慢性特定疾病分】 対象人数27人・支給人数8人 支給額155,709円 *対象者の1/3程度の支給状況のため今後は、制度普及が必要。	保護者の経済的負担の軽減及び児童等の福祉の増進を図るため、市単独事業として、入院・通院医療費のうち保険適用となる自己負担分を助成する。	
6	多子世帯の子育て支援	経済的負担が大きい子どもの数が3人以上の多子世帯に対して、保育料の無料化などの経済的支援を行う。	実施(検討)中	18歳未満の児童を3人以上扶養し、かつ3人目以降の3歳未満児が保育所に入所している場合、所得により保育料の減免を実施した。	-	-	-	-	減免対象となる基準を満たした世帯に対し、保育料の減免を実施した。	減免対象となる基準を満たした世帯に対し、保育料の減免を実施する。	
7	ひとり親家庭の子育て支援	ひとり親家庭の自立に向けた相談や経済的支援を行う。また、「未婚のひとり親家庭」に対しては税法上適用されない寡婦(夫)控除が適用されたものとみなして保育料などの利用料を算定し、負担額格差の解消を図る。	実施(検討)中	平成27年度より「みなし寡婦」制度を開始。申請実績は0件	-	-	-	-	制度は開始したが、該当者が少なく申請実績がなかった。	把握している対象者には周知をしているが、さらに周知し、PRしていく。	
8	妊産婦・乳幼児健診の推進	妊婦が健やかに安心して出産し、子育てができるよう、妊婦健診、産後健診、4か月健診等を実施し、母子の健康管理の向上を図る。	実施(検討)中	・妊婦健診受診者数4,430人(延べ人数) ・4か月健診の受診率97.5%	-	-	-	-	受診促進のため、妊婦健診受診票を14回分交付した。また、4か月健康診査の未受診者には家庭訪問等を実施し、全数把握した。	引き続き妊婦健診受診票を交付する。また、4か月健康診査は年間24回を予定しており、親子の健康状態を把握していく。	
9	不妊治療費助成	希望しながら子どもに恵まれない夫婦への支援として、不妊症等に対する治療費の一部を助成する。	実施(検討)中	人工授精に係る治療をした夫婦に助成金を交付。	不妊治療費助成対象者数(人)	13	11	15	助成金制度を周知するため、広報・ホームページ掲載した。	一般不妊治療費助成金制度を継続する。	

津島市まち・ひと・しごと創生総合戦略掲載事業進捗状況表

番号	事業	概要	平成27年度 実施状況	平成27年度実績 (未実施の場合はその理由)	KPI (重要業績評価指標)	実績値 (H27)	総合戦略 策定時	目標値 (H31)	平成27年度事業評価	28年度取組	備考
10	子育て応援情報の充実	子育て中の保護者が、子育てに関する情報を簡単、手軽に入手できるよう、地域の幅広い情報を集めた子育て応援サイト等の情報の充実を図る。	実施(検討)中	妊娠期から子育て期までの各種情報を集約した「津島市子育てガイドブック」をホームページに掲載した。	-	-	-	-	子育て支援の情報が集約されている「津島市子育てガイドブック」は、年1回の更新のため、各種講座等の最新情報の掲載については、対応できなかった。	子育て支援情報の配信(子育てアプリ)準備を実施する。	
11	多様な保育サービスの充実	延長保育、一時的保育、休日保育、病児・病後児保育など、ニーズに応じた多様な保育サービスを提供する。	実施(検討)中	市内保育園にて、一時預かり事業、延長保育事業、病児保育事業を実施した。	病児・病後児保育の利用者数(人)	19	53	70	一時預かり事業や延長保育事業は利用者が多数いたが、病児・病後児保育事業の利用者は前年度より減少となった。	病児・病後児保育事業の周知を図るため、広報やチラシ配布、医療機関へのチラシ配布を実施する。	
12	就学支援	経済的理由により児童生徒を就学させることが困難な家庭への経済的支援、私立高校授業料や給食費の補助を実施する。	実施(検討)中	H27年度より、私立高等学校等に通う生徒の保護者に対して授業料の負担を軽減するため、私立高校生1人につき年額10,000円の助成制度を実施した。	-	-	-	-	329人に対し10,000円の助成をし、授業料の負担軽減の一助となった。	助成事業を継続して実施する。	
13	放課後児童健全育成事業	昼間に保護者が家庭にいない小学生に対して、放課後や長期休み中の遊びや生活の場を確保し、子どもたちの健全な育成を図る。	実施(検討)中	市内8か所での放課後児童健全育成事業の実施した。また、耐震性のない子どもの家の移設に向け調整を行った。	-	-	-	-	西小学校区放課後児童クラブ移設に向け、保護者と協議をした。 北小学校区放課後児童クラブ移設に向け、貸主と契約の見直しを行い、駐車場建設予定地地権者と賃貸借契約に向け交渉をした。	西小学校区放課後児童クラブ建設に向け、実施設計を作成。 北小学校区放課後児童クラブ移設に向け、保護者と協議を行う。	
14	子どもの居場所づくり	児童館事業の充実や子どもが遊べる身近な公園・広場の充実など、子どもが安全で楽しく遊べる環境づくりを進める。	実施(検討)中	中央児童館の夏休みの利用検討を行った。	-	-	-	-	平成28年度夏休みの実施に向け、指定管理者と事業内容や実施体制について協議を行った。	中央児童館夏休み開館日・時間拡大事業を実施する。	
15	保育送迎ステーションの設置	保育施設への送迎負担を軽減し、働きながら子育てしやすい環境づくりを進めるため、社会実験的に、駅周辺に保育園等への送迎ステーションの設置を検討する。	未実施	保育園等への送迎ステーションについて情報収集を行った。	-	-	-	-	保育園等への送迎ステーション設置について、課内で議論したが、具体的な検討まではいたらなかった。	保育園等への送迎ステーションの設置について、保護者のニーズ調査や費用対効果等を見極めながら、引き続き研究を進める。	

津島市まち・ひと・しごと創生総合戦略掲載事業進捗状況表

(1)ー2 子どもが健やかに成長できる環境づくり

番号	事業	概要	平成27年度 実施状況	平成27年度実績 (未実施の場合はその理由)	KPI (重要業績評価指標)	実績値 (H27)	総合戦略 策定時	目標値 (H31)	平成27年度事業評価	28年度 of 取組	備考
16	外国語教育、国際理解教育の推進	語学指導等を行う外国青年招致事業(JETプログラム)を活用し、小中学校の外国語教育の充実を図るとともに、海外との交流を通じた国際理解教育を推進する。	実施(検討)中	4中学校、8小学校に6人を配置し、小中学校の外国語教育の充実を図った。	-	-	-	-	外国語教育の充実を図った。	引き続き外国人講師を配置し外国語教育の充実を図る。	
17	豊かな心を育てる活動	各界で活躍している著名人と直に接する機会を設け、子ども達が未来への大きな夢と希望を抱けるよう心の育成を推進する。	実施(検討)中	全小中学校で講演会等を実施した。	-	-	-	-	12小中学校で講演会等を開催し、豊かな心を育てる活動を実施した。	引き続き市内4小中学校で講演会等を実施する。	
18	郷土愛を育むふるさと学習の推進	地域の歴史・文化・人々の暮らしへの理解を深め、体験的な活動を通じて自ら学び考えるふるさと学習を推進する。	実施(検討)中	歴史・文化学習事業(天王祭 朝祭)を実施した。	-	-	-	-	小学生が朝祭りを学ぶことにより、郷土に対する理解を深めた。	天王祭(朝祭)の学習会、見学会を実施する。 また、国際理解教育事業、国際交流事業を実施する。	
19	総合的な子どもの体力強化	子どもの頃の基礎体力を充実し、生涯にわたって健康な身体を維持できるよう体力づくりプログラムを推進する。	実施(検討)中	各小学校において、総合的な子どもの基礎体力向上大作戦を実施した。	新体力テストにおける体力章交付者の割合(%)	小学校:7.9 中学校:11.7	小学校:7.9(H27) 中学校:11.7(H27)	小学校:10.0 中学校:14.0	各小学校において、総合的な子どもの基礎体力向上大作戦を実施した。	引き続き各小学校において、総合的な子どもの基礎体力向上大作戦を実施する。	
20	学校給食の充実	地元の食材を使った献立や子ども達が考えたアイデアを取り入れたりするとともに、食物アレルギー対策に配慮するなど、おいしくて安全な学校給食を提供する。	実施(検討)中	・児童生徒の考えた献立を給食に取り入れるため、「給食コンクール」を開催し、献立に反映させた。 ・随時、地元食材を使用し、美味しく安全な学校給食の提供を行った。	-	-	-	-	応募総数 951点 小学校 551点 中学校 400点 入賞作品 22点 小学校 13点 中学校 9点 22点の中から12点給食に取り入れた。	児童生徒が家族と一緒に食事について考える機会をもち、児童生徒が考えた献立を給食に取り入れることにより、給食への関心を高め、楽しく美味しく給食を提供していく。 また、11月以降の給食に取り入れる。	
21	放課後子ども教室の実施	地域の方の参画を得て、子どもたちがスポーツ、文化活動等で交流する安心安全な子どもの活動拠点(居場所)を確保する。	実施(検討)中	参加希望者の多い東小放課後子ども教室を2教室で実施するなど、前年度より定員を47人拡充して実施した。	-	-	-	-	定員を拡充したことで前年度より多くの児童に参加機会を提供できたが、保険請求に及ぶ事故も増加した。定員に応じた体制の強化、場所の確保が課題。	放課後における子どもの安全かつ安心な活動の場を確保し、地域の方々の参画を得ながら、さまざまな体験、交流、学習等の活動機会を提供する。 放課後児童クラブとの連携(一体型事業の実施)を図るため、先進地視察や試行事業の検討を行う。	
22	学校支援地域本部の推進	地域ボランティアが学校を支援する、生徒児童が地域の活動に参加するなど、学校・家庭・地域が一体となって地域ぐるみで子どもの成長を見守る体制を推進する。	実施(検討)中	学校・家庭・地域が一体となって地域ぐるみで子どもの成長を見守る体制を推進した。	学校支援地域本部設置数(箇所)	1	1	2	学校・家庭・地域が一体となって地域ぐるみで子どもの成長を見守る体制を推進した。	引き続き、学校・家庭・地域が一体となって地域ぐるみで子どもの成長を見守る体制を推進していく。	

津島市まち・ひと・しごと創生総合戦略掲載事業進捗状況表

(2)津島市に住み続けながら働けるようにする

(2)-1 多様で安定した職場の開拓

番号	事業	概要	平成27年度 実施状況	平成27年度実績 (未実施の場合はその理由)	KPI (重要業績評価指標)	実績値 (H27)	総合戦略 策定時	目標値 (H31)	平成27年度事業評価	28年度の取組	備考
23	企業誘致の推進	企業誘致基本計画に沿って新規企業の誘致を進めるとともに、企業誘致優遇策の創設や企業ガイドブックによる情報発信を行うなど、企業誘致を推進する。	実施(検討)中	津島市都市計画法に基づく開発行為等の許可の基準に関する条例に基づき、市長が指定した区域と企業誘致促進のための優遇制度を確定した時点で、平成27年度補正対応で作成を行う。企業ガイドブックの掲載内容は、企業誘致推進チームで検討を行った。また、平成28年3月に企業誘致基本計画を策定した。	企業誘致件数(件)	0	-	8	企業誘致基本計画に沿って新規企業の誘致を進めるとともに、企業誘致優遇策の創設や企業ガイドブックの作成に当たり多くの企業との接点を持つことができた。	津島市都市計画法に基づく開発行為等の許可の基準に関する条例に基づき、市長が指定した区域と企業誘致基本計画の中で、企業誘致促進の優遇制度を反映させた企業ガイドブックを作成する。また、優遇制度の具体的な制度や金額の検討を行う。	
24	特区による次世代産業の振興	国の特区制度を活用して航空宇宙関連産業など次世代産業の振興に向けた取組みを進める。	実施(検討)中	津島市総合特別区域法第23条第1項の規定に基づく準則を定める条例を制定した。	-	-	-	-	地方公共団体の権限の範囲内での規制緩和や地域の独自ルールを設定することができた。	国の特区制度を活用して航空宇宙関連産業など次世代産業の振興に取り組む。	
25	地域企業の新分野・新事業開拓支援	国、県、関係機関等の各種制度や機能を有効に活用して、地域企業の新分野・新事業開拓を支援する。	未実施	平成28年度より、地域企業のニーズ調査を実施するため。	-	-	-	-	-	地域企業のニーズ調査に取り組む。	
26	地域企業の経営力強化	企業の経営の安定化を図るために、信用保証料助成や銀行への資金の預託など、各種融資制度の活用を支援する。	実施(検討)中	助成金 14件 529,000円 預託金 25件 102,150,000円	-	-	-	-	中小企業は資金調達が困難であることが多い中、企業の成長・発展のため、セーフティネットの役割を果たすことができた。	金融機関との連携のもと中小企業者のニーズを把握し、広報活動にも取り組む。	
27	地域における創業支援体制の構築	商工会議所や金融機関、大学等と連携し、ワンストップ相談窓口や創業セミナー、立ち上げ支援からフォローアップまで、きめ細かな創業支援体制を整備する。	実施(検討)中	津島チャレンジ創業スクールを全6日間実施した。	市内の特定創業支援を受けた創業者数(件)	0	-	20	チャレンジ創業スクールを実施したが、創業には至らなかった。	商工会議所に創業者支援についての補助をすることにより創業支援体制を整える。	
28	多様なしごとの創出	地域の課題や暮らしのニーズに対応したコミュニティビジネスや、子育て世代及び女性の視点を活かすしごとなど、多様なしごとの創出を支援する。	実施(検討)中	事業検討を行い、項目番号87の事業として地方創生加速化交付金の申請を行った。	-	-	-	-	地方創生加速化交付金の申請を行った事業が交付決定された。	項目番号87の事業として実施する。	
29	6次産業化の推進	既存産業を活かしつつ、農業生産と加工・販売の一体化といった6次産業化を進め、農産物の競争力を強化する。	実施(検討)中	6次産業化に関心のある生産者2件に愛知県6次産業化サポートセンターを紹介した。	-	-	-	-	生産者本人が自主的にサポートセンターや東海農政局と連絡をとり、アドバイスを受けるようになった。	6次産業化の進展により、補助制度の紹介・活用を進める。	

津島市まち・ひと・しごと創生総合戦略掲載事業進捗状況表

番号	事業	概要	平成27年度 実施状況	平成27年度実績 (未実施の場合はその理由)	KPI (重要業績評価指標)	実績値 (H27)	総合戦略 策定時	目標値 (H31)	平成27年度事業評価	28年度の取組	備考
30	障がいのある方・高齢者の就労支援	就労支援関係団体やシルバー人材センターとの連携により、障がいのある方や高齢者の就労の問題・課題の共有化や意見交換等により、働く意欲のある障がいのある方や高齢者の就労を支援する。	実施(検討)中	・障がい者 就労支援としてパンの販売を実施した。また、6/28に就労フェアを実施した。 フェア終了後、今後の就労支援について協議を行った。 ・高齢者 シルバー人材センター登録者数272人ワンコインサービス、堆肥の販売、包丁研ぎ等を実施した。 会員確保のため、ホームページ開設、機関紙の発行等の普及活動を実施した。	-	-	-	-	・障がい者 就労支援としてパンの販売を実施。 6/28に就労フェアを実施。 フェア終了後、今後の就労支援について協議を行った。 ・高齢者 シルバー人材センターの登録者数は前年度比減となったが、就業機会の拡大に向け特にシルバー派遣事業については就業延人員の昨年実績を23.7%(778人日)上回ることができた。	・障がい者 障がい者の自立のために、社会参加機会(就労)を増やす。また、障がい者等への理解を促進・啓発するために市が主催する事業として、パンの販売方法等を見直す。 ・高齢者 知識と経験を生かした就労機会の確保を図るため津島市シルバー人材センターを支援し、高齢者が活躍できる地域づくりを進める。	
31	ワーク・ライフ・バランスの推進	有益となる子育てや介護等の情報を随時提供するなどして、女性が働きやすい環境整備を進める。	実施(検討)中	ホームページ上に、子育て、介護情報、再チャレンジ情報などが得られるポータルサイトを紹介し、ワーク・ライフ・バランスの確立を推進するため情報提供を行った。 「男の料理教室」を10/3(土)に開催し11人が参加した。	-	-	-	-	子育てや介護等の情報提供、男性の料理教室の開催により、女性が働きやすい環境整備を進めることができた。	ホームページに子育て・介護情報を掲載し、情報提供を行う。また、男性対象の講座を開催するよう努める。	
32	消費喚起プレミアム商品券発行	プレミアム付商品券を発行し、市内の消費を喚起し、商業の振興を図る。	完了	市内の消費喚起・拡大と地域経済の活性化を図るため、プレミアム付き商品券を発行した。 プレミアム率:20%(1冊12,000円分(額面500円券×24枚綴り)を1万円で販売)。	-	-	-	-	地域住民の消費を喚起することにより、地域内小売・サービス業の活性化を図り、地域内の消費拡大につなげることができた。	-	地方創生消費喚起・生活支援型

津島市まち・ひと・しごと創生総合戦略掲載事業進捗状況表

(2)-2 利便性の高い居住環境の整備

番号	事業	概要	平成27年度 実施状況	平成27年度実績 (未実施の場合はその理由)	KPI (重要業績評価指標)	実績値 (H27)	総合戦略 策定時	目標値 (H31)	平成27年度事業評価	28年度取組	備考
33	駅周辺の土地利用の誘導	駅周辺地域の土地利用の検討を進め、津島駅など通勤通学において利便性の高い環境を生かした有効な土地利用を誘導するための開発整備を促進する。	実施(検討)中	青塚駅、永和駅については基本調査を行った。ただし、鉄道駅周辺の整備についてはその優先順位や整備手法、目指す土地利用など、今後の十分な検討が必要となる。	-	-	-	-	青塚駅、永和駅は、優先順位や整備手法、目指す土地利用などを検討することができた。	引き続き継続的に検討していく。	
34	用途地域の見直し	市街化区域内の一団の都市的低未利用地が残る地区については、地区計画により道路、公園等を整備し用途地域を見直すことで、住居等の立地誘導を図る。	実施(検討)中	【神守中町地区】 ・公園位置を決定した(土地所有者との協議) ・愛知県と協議を進め、地区計画の都市計画決定及び用途地域の変更を行った。	地区計画箇所数(件)	1	-	2	【神守中町地区】 法手続きを完了することができた。	神守第2地区に関しても地区計画制度を活用し、適正な土地利用が図れるよう都市計画の見直しを行う。	
35	空家等既存ストックの有効活用	関係機関との連携等により、空家、空き店舗などの有効活用を積極的に推進する体制を整備し、地域コミュニティの活性化、町の賑わい創出などにつなげる。	実施(検討)中	「つしま夢まちづくり提案事業」の補助事業として「津島ツムギマチ・プロジェクト」で空家お掃除ワークショップや空家物件情報の発信等の活動を展開した。 当事業に関わった物件への入居が1件あった。	空家等利活用件数(件)	1	-	20	津島駅西エリアの空き物件を活用したい方の掘り起しやオーナーとの対話機会の獲得の他、まちづくりに関心を持つ方や地域内外で活動する他団体との関係構築、派生イベントの立ち上げなどへの波及効果が出ている。	「つしま歴史・文化のまちづくり提案事業」として「津島ツムギマチ・プロジェクト」の空家活用に関する事業を補助する。	
36	道路整備の推進	骨格的な幹線道路網の形成を図り、広域交通へのアクセス利便性の向上を図るとともに、地域内交通の円滑な処理を図る。また、幅員4m未満の狭い道路は避難路確保等のため、住民の理解を得ながら整備を進める。	実施(検討)中	・幹線道路を整備した。(昭和南本町線) 物件補償 1件 ・天王通り5丁目交差点 交差点改良に伴う道路詳細設計を実施した。 ・狭い道路整備を2路線実施した。	-	-	-	-	円滑な交通処理を行うための交差点改良詳細設計を行った。	幹線道路整備(昭和南本町線)の用地買収を行う。 狭い道路整備を2路線で行う。	
37	地域公共交通の確保	市民の活動支援の観点から、主に公共施設、商業施設等を回るコミュニティバスの運行など、地域の公共交通を確保する。	実施(検討)中	市民の活動支援の観点から、主に公共施設、商業施設、交通空白地域にバス運行を行った。 運行ルート【4ルート】 運行本数【6・4・4・4】	-	-	-	-	コミュニティバスを運行し、市民の足として寄与した。	市民の活動支援の観点から、主に公共施設、商業施設、交通空白地域にバス運行を行う。	
38	交通安全対策の推進	道路反射鏡、照明灯、防護柵等の安全施設を効果的に配し、交通安全の確保を図る。	実施(検討)中	道路反射鏡、照明灯、防護柵等の交通安全施設を効果的に配した。 反射鏡 27基 道路照明 8基 防護柵 219m 区画線 2,618m	-	-	-	-	交通安全施設を効果的に配置し交通安全の確保に努めた。	交通安全施設を配置する。 反射鏡 10基 道路照明 3基 防護柵 100m 区画線 2,000m 交差点(カー舗装)2箇所	
39	都市公園更新・長寿命化	天王川公園の藤棚を始め、都市公園の施設更新を行うための計画を策定するとともに、安全・快適に利用できるように施設の維持管理、点検を進める。	実施(検討)中	都市公園施設長寿命化計画を策定した。 (天王川、東、海西公園)	-	-	-	-	3公園の公園施設長寿命化計画を策定した。	藤棚改修の詳細設計を実施する。また、老松公園ほか8公園の公園施設長寿命化計画を策定する。	
40	市営住宅の再生整備	市営住宅の良好なストック確保のため、長寿命化計画に基づき整備を進める。また、廃止された市営住宅跡地の売却を進め民間による開発誘導を図る。	実施(検討)中	市営蛭間住宅の外壁屋根改修工事及び市営城山(耐)住宅の解体工事設計を行った。	-	-	-	-	計画通り実施することができた。	市営喜楽住宅跡地を民間に売却する。	
41	公共施設等総合管理計画の策定推進	長期的な視点をもって公共施設・公共用地等の更新・統廃合・長寿命化などの方針を定め、財政負担の軽減・平準化を行うとともに、公共施設の適正配置を進める。	実施(検討)中	公共施設の目視調査、健全度判定及び構造体劣化調査など公共建築物現況調査を実施した。	-	-	-	-	「津島市公共施設等総合管理計画」策定に向けた基礎調査等を行い、公共建築物の現状等を把握することができた。	更新・維持管理費用の中長期的な見込みを立てた上で、更新・統廃合・長寿命化を検討していくための指針となる「津島市公共施設等総合管理計画」を策定する。	

津島市まち・ひと・しごと創生総合戦略掲載事業進捗状況表

(2)ー3 企業と若者との接点の強化

番号	事業	概要	平成27年度 実施状況	平成27年度実績 (未実施の場合はその理由)	KPI (重要業績評価指標)	実績値 (H27)	総合戦略 策定時	目標値 (H31)	平成27年度事業評価	28年度取組	備考
42	企業情報の提供	津島市だけではなく、周辺の自治体や商工会議所・商工会と連携して、地域の企業を紹介する冊子の作成や紹介する展示を行い、地域企業の情報を若者に提供する。	実施(検討)中	冊子に企業情報と一緒に掲載する予定の企業支援についての優遇策を整理した。	関係機関と連携した企業説明会の開催数(回)	0	1	2	県制度等を活用できそうな制度の整理をすることができた。	企業支援についての優遇策を議会説明後に制度化する。	
43	職場体験機会提供	地域企業への企業訪問・職場体験機会の提供、インターンシップの斡旋など、若者が地域企業をより深く知る機会を提供する。	未実施	企業や商工会議所との調整まで至らなかったため。	-	-	-	-	-	平成29年度実施に向け企業や商工会議所と調整を図る。	
44	学校と企業との交流促進	子どもたちの地域の企業への関心を高めるために、企業従業員による学校での出張講座、生徒・児童の企業見学など、学校と企業との交流機会を設定する。	実施(検討)中	企業従業員による学校での出張講座、生徒・児童の企業見学など、学校と企業との交流機会を設定した。	-	-	-	-	企業従業員による学校での出張講座、生徒・児童の企業見学など、学校と企業との交流機会を設定した。	引き続き、企業従業員による学校での出張講座、生徒・児童の企業見学など、学校と企業との交流機会を設定していく。	

津島市まち・ひと・しごと創生総合戦略掲載事業進捗状況表

(3) 人の交流・活動を活発にし、都市イメージを改善する

(3) - 1 若い人の活躍機会の拡充と発信

番号	事業	概要	平成27年度 実施状況	平成27年度実績 (未実施の場合はその理由)	KPI (重要業績評価指標)	実績値 (H27)	総合戦略 策定時	目標値 (H31)	平成27年度事業評価	28年度の取組	備考
45	夢まちづくり事業	特色あるまちづくり活動への補助や地域を担う人材育成のための講座を開催するなど、若者や女性の自主的な活動を支援する。	実施(検討)中	10月に津島市生涯学習センター内に市民活動団体の拠点となるための「つしま夢まちづくりセンター」を開所し、夢まちづくりひと講座の開催をした。	つしま夢まちづくり提案事業実施件数(件)	19	14	15	市民活動団体の特色あるまちづくり活動支援を実施する拠点を整備し、夢まちづくり講座を開催して、団体への支援を積極的に行うことができた。	様々な分野で活躍する市民活動団体の特色あるまちづくり活動を支援し、地域の課題解決やまちづくりにつなげる。また、登録団体やセンター利用者を増やすとともに、登録市民活動団体と共催し、講座を開催する。	
46	空家・空き店舗活用	既成市街地等で継続して空家・空き店舗となっている建物の利用促進を図るため、一定の基準を満たすリフォーム工事に対して、費用を助成する。	実施(検討)中	空家等利活用助成制度を検討を行った。	-	-	-	-	空家等活用の利活用助成制度の検討を行うことができた。	継続的に検討していく。	
47	津島のライフスタイル発信	津島市で住み働く若者や女性のライフスタイルや満足感を、インターネット、CATV、冊子等の各種媒体を活用して発信する。	実施(検討)中	平成28年3月より広報紙「市政のひろば」をスマートフォンで見ることが出来るように媒体を増加した(i広報誌)。	-	-	-	-	若者が市制情報を閲覧できる媒体が増え、情報取得する手法が広がった。また情報発信の機運が高まった。	若者や女性が必要とする情報をi広報誌に掲載していく。	

津島市まち・ひと・しごと創生総合戦略掲載事業進捗状況表

(3) - 2 歴史・文化を活かしたまちづくり

番号	事業	概要	平成27年度 実施状況	平成27年度実績 (未実施の場合はその理由)	KPI (重要業績評価指標)	実績値 (H27)	総合戦略 策定時	目標値 (H31)	平成27年度事業評価	28年度 of 取組	備考
48	歴史・文化のまちづくり 推進	津島駅西側の歴史・文化ゾーンを中心に、小路整備事業、町家・山車蔵等の修景費助成事業、ポケットパークや案内板、観光拠点施設の整備など、歴史文化を活かした事業を進める。	実施(検討) 中	タウンミーティングの開催、まちづくりニュースの発行、国庫補助事務(都市再生整備計画)、観光スイーツアイデア全国公募・商品化事業を実施した。	町家・山車蔵等の修景費助成件数(件)	0	-	10	タウンミーティングの中で出された市民の意見をまちづくりの取組みに取り入れた。津島のまちの風情に合うスイーツを開発、商品化するため全国からアイデア公募し、新たに津島の”和”スイーツとして商品化に結び付けることが出来た。	・津島市の魅力である歴史・文化を活かしたまちづくりを推進する。 ・都市再生整備計画事業の実施。 ・タウンミーティング等を行うことにより、市民と一緒に事業の具体化を進める。 ・加速化交付金の事業である津島”にぎわい”創出プロジェクトを実施する。	
49	堀田家住宅等の保存・活用	重要文化財である堀田家住宅及び市指定文化財の氷室作太夫家住居の適切な管理・運営と保護・活用を進める。	実施(検討) 中	堀田家住宅うだつ、中門、中堀、屋根瓦の修理を行った。堀田家住宅の藤まつり期間特別公開やパネル展(天王祭・秋まつり)、伝承の館事業(茶会)との共催、御殿雑展示等を実施した。	堀田家住宅観覧者数(人)	4,436	4,150	5,000	堀田家住宅の観覧者数は前年より286人(6.9%)増加。氷室作太夫家住居は、屋根瓦や樋の修繕により当面雨漏りを防げるが、活用(公開)できる状態にはない。	堀田家住宅の利活用の検討及び氷室作太夫家住居の修復、また、南海トラフ地震発生リスクに備えた耐震化の検討を進める。	
50	ユネスコ無形文化遺産 登録の推進	平成28年(2016年)秋にユネスコ登録の可否の発表に向けて、連絡協議会を設置して関係市町の連携を深めるとともに、登録に合わせて地域全体で盛り上げる記念イベント等を実施する。	実施(検討) 中	5月に美濃市及び美濃和紙の里会館の視察研修、8月に半田市で研修(講演会)を実施したほか、平成28年3月に栄のオアシス21で国民文化祭プレイベントにPRブースを出展した。6市町で共同制作したポスターやリーフレット、クリアフォルダを掲示、配布した。	-	-	-	-	研修参加やPR活動を行いつつ、会長市としても関係6市町との連絡調整や予算執行等の事務局業務を全うした。	平成28年11月28日から12月2日にかけてエチオピアの首都アディスアベバで政府間委員会が開催され、登録の可否が審議される予定。研修を重ねながら、登録となった場合の記念イベント等の準備を進める。	
51	尾張津島天王祭PRイベントの実施	国の重要無形民俗文化財に指定されている尾張津島天王祭の車楽舟行事の更なる盛り上げを図るため、プレイベントなどのPRイベントを実施する。	実施(検討) 中	市公式キャラクターである、「つし丸」「マッキー」を活用し近隣自治体等が開催する各種イベントに参加し、尾張津島天王祭のPRを実施した。 ・実績 参加総数24回	-	-	-	-	プレイベント等のPRイベントを実施及び参加することにより、尾張津島天王祭をより一層盛り上げることができた。	愛知県内におけるイベント等に参加して、「尾張津島天王祭」を中心としたPRを実施し、同時に「尾張津島藤まつり」「尾張津島秋まつり」「開扉祭」等を含め津島市を積極的にPRする。	
52	デジタル博物館による 情報発信	市内にある歴史的文化的遺産や市の収蔵美術品を紹介するwebページを作成し、広く情報発信する。	実施(検討) 中	新たな指定文化財情報(開扉祭)や堀田家住宅特別公開等の情報掲載を行った。	-	-	-	-	情報の更新頻度を上げ、コンテンツの充実にも注力していく必要がある。	ユネスコ登録を見据え、尾張津島天王祭のプロモーション動画をアップする。	
53	津島型町家の住宅モデル プラン提案募集	津島市に多く残る「町家住宅」の既存のストックを活かしながら今後長らく住み暮らすための「津島型町家の住宅」を募集し、町家、町並みの保存や再生のために活用していく。	実施(検討) 中	津島市に多く残る「町家住宅」の既存のストックを活かしながら、今後長らく住み暮らすための新世代町家の新しい形の提案を募集する。	プラン提案件数(件)	36	-	50 (H27)	計画通り提案募集を実施することができた。	町家、町並みの保存、再生への活用について検討を行う。	地方創生先行型

津島市まち・ひと・しごと創生総合戦略掲載事業進捗状況表

(3) - 3 シティプロモーションの展開

番号	事業	概要	平成27年度 実施状況	平成27年度実績 (未実施の場合はその理由)	KPI (重要業績評価指標)	実績値 (H27)	総合戦略 策定時	目標値 (H31)	平成27年度事業評価	28年度 of 取組	備考
54	シティプロモーションの推進	津島市の魅力を創造し、それを新たな地域イメージとして確立するために、市内、市外へ発信する様々な取組を推進する。	実施(検討)中	・先進自治体視察(東京都足立区・愛知県岡崎市)を行った。 ・シティプロモーションについて、担当職員研修(7/28.29 2名、8/19 1名)を受講した。 ・シティプロモーション職員研修(28.1/15 65名)を開催した。 ・70周年記念事業の検討、提案、WGの開催を実施した。	津島市公式HPアクセス数(件)	417,299	263,066	547,500	職員を対象としたシティプロモーション研修を実施したことで、プロモーションの必要性を浸透させた。	・市内、市外に対し、津島市の魅力発信、シティプロモーションを行う。 ・職員がシティプロモーション出来るよう要綱を整備する。 ・70周年記念事業を精査し、担当課を決定する。来年度の事業実施に向け内容を詰め予算化する。	
55	地域資源の情報発信	地域資源に関する情報とともに、「観る・食べる・買う」体感に関する情報を発信することにより、知名度を上げ、若い人の定住を促すとともに、観光客を誘致し、観光振興を図る。	実施(検討)中	近隣の自治体等が開催したイベント等に参加し、情報発信を実施した。	-	-	-	-	まつりなどのリーフレットをイベントで配布することにより、津島市をPRすることができた。	・観光案内に関するリーフレット及びマップ等を整理し、統一化とともに、当市外国人旅行者に必要な情報が提供されるよう、日本語、英語、中国語(簡体字、繁体字)、韓国語のパンフレットについて検討する。	
56	地域ブランド化の推進	産官学の連携も視野に入れつつ、地域資源を活用した商品開発や販売促進の取組を支援し、地域の知名度を高めながら地域のブランド化をめざす。	実施(検討)中	官学連携により、津島市へ「ひと」を呼び込むための施策として、津島市が有する資源等を発掘、活用し、協働で観光グッズ開発に取り組み、製品化を行った。 また、地域資源のブランド化について商工会議所、観光協会と検討を実施した。	開発商品数	2	-	2 (H27)	観光PRグッズの開発・作成をし、市のPR活動に活用できた。	「あかだ・くつわ」を県の地域産業資源として申請を行う。また、中小企業者が地域産業資源(土産、伝統工芸品等)の新商品、新サービスの開発など、地域に価値や魅力を感じるブランドづくりを支援するため、商工会議所、観光協会と検討を行う。	地方創生先行型
57	広域連携による観光の推進	観光テーマに応じて、関係する地域と連携して観光PRや観光ルートの開発など、広域連携により観光の振興を図る。	実施(検討)中	海部地域の各市町村の認識の統一を図り、海部地域広域観光ワーキンググループを円滑に進めるため、関係各市町村担当課長及び観光担当と打ち合わせを実施した。	-	-	-	-	海部地域広域観光ワーキンググループを円滑に進めるため、海部地域の各市町村と認識の統一を図ることができた。	海部地域の各市町村との打合せを引き続き実施する。	
58	観光交流サミットの開催	尾張津島天王祭のユネスコ無形文化遺産登録及び市制施行70周年となる節目の年に観光交流サミットを開催し、観光地としての津島市の魅力を発信する。	実施(検討)中	第8回愛知県観光交流サミットの事業概要について検討。 平成27年度開催市(岡崎市)の観光サミットにおいて、次期開催が津島市であることをPRし参加を促した。	-	-	-	-	観光交流サミットの組織である実行委員予定者に事業に興味を伝え、事前に了承をいただき、円滑な事業推進を図った。	県内観光関係者による実行委員会を立上げ、協議、精査し、観光交流サミットを運営する。次期、開催市への引き継ぎを行う。	
59	Rediscovery Tsushima 写真コンテスト	市民や来訪者に、津島の良さを再発見してもらうため、全国的に写真作品を募集し、津島の歴史文化、秘めた魅力をプロモーションする。	実施(検討)中	市民、来訪者に、津島の歴史、文化、秘めた魅力を広く知らしめ、津島の良さを再発見するため、全国的に作品(写真)を募集し、津島の記憶と記録を採取した。	作品応募数(点)	1,596	-	1,000 (H27)	撮影場所が市内に限られているため、各地方から多くの方が津島市を訪れていた。また、津島市の良さを知っていただき、誘客についても効果があった。	写真コンテスト「春の部」を開催する。また、グランプリ及び入賞作品を活用し、津島の魅力を全国に発信するため四季に応じたポスターを作成する。	地方創生先行型
60	花ごよみ事業(アダプトプログラム)	天王川公園内に「花ごよみエリア」を造成し、オーナーを募集するとともに、市外に向け、市民と共に天王川公園の良さを伝え、花の歴史公園として名勝化を進める。	実施(検討)中	天王川公園内に「花ごよみ公園」を造成し、オーナーを募集することにより市民一人ひとりのAdopt感の高まりを目指すとともに、市外に向け、市民と共に天王川公園の良さを伝えた。	オーナーの数(団体)	40	-	40 (H27)	天王川公園を訪れる方やオーナーからも好評で、市民一人ひとりのアダプト(里親)感の高まりを目指すとともに、市民と共に天王川公園の良さを市外に向け発信できた。	天王川公園の再整備計画による藤棚改修と合わせ、名勝化を進める。	地方創生先行型

津島市まち・ひと・しごと創生総合戦略掲載事業進捗状況表

番号	事業	概要	平成27年度 実施状況	平成27年度実績 (未実施の場合はその理由)	KPI (重要業績評価指標)	実績値 (H27)	総合戦略 策定時	目標値 (H31)	平成27年度事業評価	28年度を取組	備考
61	おもてなしコンシェル ジュ人材育成	市内・市外問わず広く受講者を募集し、多くの来訪者に対しておもてなしができる人材を育成する。	実施(検討) 中	市内・市外問わず広く受講者を募集し、多くの市民、来訪者に対しておもてなしができる人材を育成した。	研修修了者数(人)	74	-	60 (H27)	来訪者を受け入れるための74人のおもてなしコンシェルジュを育成、認定することができた。	今後も継続しておもてなしコンシェルジュを育成していく。また、まちの賑わいを創出できるよう創出機構の設立を目指す。	地方創生先行型
62	行政窓口の見直し	多岐にわたる行政窓口を見直し、市民にとって真に利用しやすい行政窓口の整備を進め、行政サービス並びに利便性の向上に努める。	実施(検討) 中	保育園と幼稚園の担当窓口を子育て支援課に一本化を行った。	-	-	-	-	窓口を一本化することで、市民の利便性を向上させることができた。	引き続き利便性を向上させるため、窓口の整備について検討を行う。	
63	ふるさと応援寄付金の活用	津島市にお寄せいただいた寄付金を「ふるさとつしま応援寄付金」として、“ふるさとつしまのまちづくり”に活用していく。	実施(検討) 中	一定額以上の寄付者3組を尾張津島天王祭に招待し、魅力を周知してもらった。	-	-	-	-	市外の方に、尾張津島天王祭の素晴らしさを認識していただいたことで、魅力の発信につながった。	・尾張津島天王祭の機軸席招待をふるさと応援寄付金の特典とすることで、津島市の魅力の発信を行う。 ・地域振興のため、寄附者に対し返礼品事業を行うことを検討する。	

津島市まち・ひと・しごと創生総合戦略掲載事業進捗状況表

(4)時代に合った地域をつくり、健康で安心な暮らしを守る

(4)－1 防災・減災対策の充実

番号	事業	概要	平成27年度 実施状況	平成27年度実績 (未実施の場合はその理由)	KPI (重要業績評価指標)	実績値 (H27)	総合戦略 策定時	目標値 (H31)	平成27年度事業評価	28年度 of 取組	備考
64	防災拠点の整備	海拔ゼロメートル地帯であることを念頭に、発災時に一時的に避難できる場所を確保する。	実施(検討)中	愛知県が設置する「広域的な防災活動拠点の確保に関する検討会」において検討を実施した。	-	-	-	-	防災活動拠点の整備候補地が旧永和荘(愛西市大井町)に決定し、海部管内に拠点を確保した。	愛知県防災局災害対策課が開催する「ゼロメートル地帯における広域的な防災活動拠点の確保に関する検討会」により、関係市町村と広域的な防災活動拠点の確保対策について検討を行う。	
65	災害協定の推進	災害時の支援や避難先としてのビルの使用などについて、地元の企業との協定の締結を推進する。	実施(検討)中	災害時における一時避難所の防災協定を推進した。(H27現在:計23事業所/受入人数11,222人) ※1・2次避難所受入人数【短期】30,834人	災害時の民間協力一時避難所に関する協定締結件数(件)	23	20	40	計23の民間企業等と一時避難場所協定を締結し、11,222人まで受入人数が増加した。	災害時における企業との協定の締結を行う。	
66	自主防災活動の促進	各小学校区自主防災会を、より強固な組織とするために町内単位の自主防災組織を設置し、地域住民相互の助け合いによる防災活動を支援する。	実施(検討)中	市内8小学校区にて自主防災訓練を実施した。	防災訓練参加者の割合(%)	6.9	6.1	20.0	市内8小学校区にて自主防災訓練を実施した。	市内8小学校区にて自主防災訓練を実施する。	
67	避難行動要支援者支援対策の構築	避難支援等関係者の協力を得ながら、避難行動要支援者の把握や災害時に円滑な避難ができるよう支援体制の整備を図る。	実施(検討)中	民生委員等と勉強会を実施した。	-	-	-	-	市内の民生委員等と勉強会を実施し、避難行動要支援者名簿作成の準備を進めた。	避難行動要支援者名簿を作成する。	
68	災害情報提供システムの構築	防災行政無線をデジタル式に更新するとともに、災害時における情報伝達手段を複数用意することによって、緊急情報等を確実に伝達する手段を構築する。	未実施	現在使用可能なアナログ式防災行政無線が使用不可能になった場合には、計画的にデジタル式へ更新する予定のため。	-	-	-	-	-	アナログ式が使用不可能となった場合に速やかに更新できるように、国等の状況を注視する。	
69	耐震性貯水槽の整備	給水可能範囲としておおむね半径1キロメートル圏内で飲料水の確保ができるよう災害用給水タンクを整備する。	未実施	平成28年度以降に事業を実施する。	-	-	-	-	-	神島田小学校、高台寺小学校、蛭間小学校の3校に整備予定の耐震性貯水槽の設計を行う。	
70	防災資機材分散備蓄事業	備蓄食糧及び防災資機材を計画的に購入し、適正な配備と管理を行い、災害に備える。	実施(検討)中	備蓄食糧及び防災資機材を計画的に購入し適正な配備と管理を行った。	-	-	-	-	備蓄食糧及び資機材を購入した。	引き続き備蓄食糧及び防災資機材を計画的に購入し、適正な配備と管理をし、災害に備える。	
71	耐震改修の促進	市の耐震改修促進計画を基に、民間住宅の無料診断と改修費の補助を行い、市民の防災意識向上と安全確保を図る。	実施(検討)中	社会資本整備総合交付金を活用し、耐震化率の向上を図った。 ・木造住宅診断:24棟 ・木造住宅改修費補助:3棟 ・耐震診断義務化(ヨシツヤ)1棟	-	-	-	-	市民の防災意識向上と安全確保を図ることができた。	各種補助事業の啓発(広報誌特集)等を行い、民間木造住宅の耐震化率の向上を図る。	
72	家具転倒防止事業	大地震に備え、家具が倒れてこないように各家庭において家具転倒防止金具の取り付けを推進する。	実施(検討)中	自主防災組織と連携し、希望者を対象に家具の転倒防止金具の取り付け固定を市内NPO団体へ委託して実施した。	-	-	-	-	市内6小学校区にて家具転倒防止金具取付を218件実施した。	自主防災会にて取付調整を行い、NPO団体で家具転倒防止金具の取付を行う。	
73	雨水排水対策の推進	市街地等の排水機能を高め、安心安全な水環境を確保するため排水路整備事業を推進する。	実施(検討)中	津島七宝名古屋線の整備を行った。 排水路整備 L=35.4m	-	-	-	-	市街地の排水機能を高めるため、県と共同で排水路整備を進めた。	津島七宝名古屋線の整備を行う。 排水路整備 L=177.3m	
74	地域防災計画の策定	毎年、国や県が行う防災計画の見直しに合わせて、津島市の実情にあった地域防災計画の見直しを行い、防災体制を整える。	実施(検討)中	愛知県地域防災計画の修正に伴い、津島市地域防災計画を修正した。	-	-	-	-	愛知県地域防災計画の修正に伴い、津島市地域防災計画を修正した。	毎年、国や県が行う防災計画の見直しに合わせて、津島市の実情にあった地域防災計画の見直しを行い、防災体制を整えます。	

津島市まち・ひと・しごと創生総合戦略掲載事業進捗状況表

番号	事業	概要	平成27年度 実施状況	平成27年度実績 (未実施の場合はその理由)	KPI (重要業績評価指標)	実績値 (H27)	総合戦略 策定時	目標値 (H31)	平成27年度事業評価	28年度 of 取組	備考
75	名古屋大学との協働の 推進	防災・減災に関するシンポジウムの内容の充実を図るなど、名古屋大学減災連携研究センターのアドバイスを得て、防災イベントを実施する。	実施(検討) 中	名古屋大学受託研究員を1名派遣した。 また、防災・減災に関するシンポジウム及び地域防災対策支援研究プロジェクト(ワークショップ)を開催した。	-	-	-	-	防災・減災のためのまちづくりシンポジウムinつしま2016を開催した。	名古屋大学減災連携研究センターとの協働を進め、研究テーマを検討のうえまとめ、シンポジウムにおいて成果発表をする。	

津島市まち・ひと・しごと創生総合戦略掲載事業進捗状況表

(4) - 2 健康寿命の延伸

番号	事業	概要	平成27年度 実施状況	平成27年度実績 (未実施の場合はその理由)	KPI (重要業績評価指標)	実績値 (H27)	総合戦略 策定時	目標値 (H31)	平成27年度事業評価	28年度 of 取組	備考
76	市民の健康づくりの推進	健康づくりの取組みに対して、マイレージ(ポイント)を付与し、一定以上のマイレージを貯めた人に、県内の協力店で特典を受けられる優待カード「MyCa(マイカ)」の交付や、健康づくりに関するボランティア活動の支援など、市民の健康づくりを推進する。	実施(検討)中	平成27年7月から愛知県と市の協働事業として「つしま健康マイレージ」事業を開始した。 健康づくりに関するボランティア会員数(人) ・食生活改善推進員19人 ・健康づくりリーダー21人 ・健康づくり推進員(元気でいよう会)29人 ・糖尿病予防し隊22人 ・認知症予防ボランティア60人	健康づくりに関するボランティア会員数(人)	151	121	240	「つしま健康マイレージ」事業は開始年度であったため、周知に徹した。事業成果を出すために、団体での取り組みを増やす、協力店舗を増やす、ポイント記入をしやすくする等を勘案し、継続実施する。また、健康づくりに関するボランティア会員数が増加しており、今後も活動支援を継続していく。	・つしま健康マイレージ事業によって、市民の主体的な健康づくりを促進する。 ①協会けんぽと協働で、協会けんぽ加入の事業所ごとで「つしま健康マイレージ」への参加者を増やす。 ②津島保健所と連携して、協力店舗を増やす。 ③保健事業への参加者等に「つしま健康マイレージ」の書き方を指導する時間を設け、確実に参加者を増やす。 ・健康づくりに関するボランティアの養成講座やボランティアの活動支援などを継続していく。 (例) ・食生活改善推進員養成講座 ・健康づくり推進員養成講座 ・糖尿病大学	
77	生活習慣病予防の推進	メタボリックシンドロームに着目した特定健診等の実施や、糖尿病予防に関する意識啓発、保健指導の実施などにより、生活習慣病の発症や重症化を予防する。	実施(検討)中	対象者に特定健診(特定保健指導)の受診券(利用券)を送付するとともに、未受診者にハガキ・電話勧奨等により受診を促し、既受診者には受診の重要性を伝えた。 また、糖尿病大学(H24度～)、糖尿病大学1年度目卒業生を対象とした専門コースを開校(H25度～)するとともに、専門コース卒業生「糖尿病予防し隊」による地域での啓発を実施した。(H26度～)。	国民健康保険加入者の特定健康診査受診率(%)	平成28年11月公表予定	39.0	60.0	・平成27年度特定健診の法定報告値は、まだ公表されておらず、平成28年11月公表予定。 単純集計による受診率は、平成26年度37.7%、平成27年度38.1%であり、やや増加した。 (法定報告値とは、対象年度内に継続して国保被保険者であった者の受診率である。単純集計値とは、特定健診受診券発行者数に対する受診率である。) 健康マイレージに糖尿病に関する基礎的な知識を習得できるコースを設け、これを予防コースとしたほか、平成26年度予防コース卒業生を対象に専門コースを実施した。 また、糖尿病予防し隊による啓発活動を実施した。 ・平成27年度、予防コース12人、専門コース14人、糖尿病予防し隊22人。	・引き続き対象者に特定健診(特定保健指導)の受診券(利用券)を送付。 ・未受診者にハガキ・電話勧奨等により受診を促し、既受診者には受診の重要性を伝える。 ・糖尿病大学の継続 ・糖尿病大学(専門コース)の継続 ・卒業生による市民啓発活動の継続	
78	地域医療体制の充実	病診連携の強化に向けて、地域の医療機関との連携強化及び住民への啓発・啓蒙活動を推進するとともに、休日・夜間診療を充実し、安心して医療が受けられる地域の医療体制の確立を図る。	実施(検討)中	外科在宅当番医制の存続に向け、海部地区全域で実施形態等の統一を図り、平成27年度、3医療機関(奥村クリニック・後藤整形外科・長谷川外科)であったが、平成28年度、4医療機関(彦坂外科が加わる予定)とした。	-	-	-	-	津島市における、地域の医療体制(休日診療体制等)地域の医療体制が整った。今後は、現体制を維持し、継続を図っていく。	在宅当番医制の存続に向け、海部地区全域で実施形態等の統一を図る。	
79	在宅医療連携事業	地域の医師、歯科医師、薬剤師、ケアマネジャーなどの多職種協働による在宅医療の支援体制を構築する。	実施(検討)中	電子連絡帳システムの利用者を増やし、他職種による連携を充実させるために3師会・介護支援事業所、ケアマネジャー、海部地区の自治体向けにICT説明会と情報交換会を実施した。	-	-	-	-	海部市町村との広域ネットワークの立ち上げ、各種規約等の整備を年度内にほぼ完了できた。また、当該内容について、モデル事業を受託していた津島市が先導的な役割を果たすことが出来た。	・津島市内でのICTシステムの利用者の拡大を図る。 ・海部市町村との広域連携の実施。	

津島市まち・ひと・しごと創生総合戦略掲載事業進捗状況表

番号	事業	概要	平成27年度 実施状況	平成27年度実績 (未実施の場合はその理由)	KPI (重要業績評価指標)	実績値 (H27)	総合戦略 策定時	目標値 (H31)	平成27年度事業評価	28年度取組	備考
80	地域包括ケアシステムの構築	高齢者が生きがいを持ち、できる限り自立し尊厳をもった生活が出来るように医療、介護、予防、生活支援などのサービスが総合的に利用しやすい環境を実現する。	実施(検討)中	高齢者見守りを目的としたネットワーク構築のために、地域支えあい懇談会を開催。H29年開始の生活支援サービス体制構築の為、コーディネーターを中心に担い手の養成準備の開始。生活支援サービスについては、既存のサービスとの住み分けや料金体系について検討。 認知症初期集中支援チームは、津島市医師会と協議のうえ、H27.10月よりモデル的に稼働開始。	-	-	-	-	生活支援コーディネーターと市担当者との協議の中で、生活支援サービスの内容、体制等の環境整備が進んだ。生活支援サービス協議体へ引き継ぐ土台を築くことができた。 認知症初期集中支援チームの活動については、件数は少ないが支援を続けており、支援方法が確立されつつある。	・生活支援サービスを社会福祉協議会、シルバー人材センターと連携し、平成29年4月に向けての準備を進める。 ・地域包括ケアシステムの構築の中で、総合事業について、各小学校区及び事業者向けの説明会を開催予定。 ・認知症初期集中支援チームの活動を継続する。	
81	津島市民病院の医療体制の充実	市民の健康を守るため、疾病の早期発見・早期治療に取り組むとともに、医師や医療職員の確保、医療機器の更新などを進め、市民が安心できる医療体制を構築する。	実施(検討)中	職員採用計画を作成し、医療職員確保を進める。 緊急性・重要性・費用対効果を十分に精査して医療機器を購入した。	-	-	-	-	説明会への参加など積極的にPRした成果もあり、ほぼ予定通り採用を進めることができた。	引き続き医療スタッフの採用を進め、良質な医療を提供できる体制を整備する。 耐用年数が経過した医療機器の更新を行う。	

津島市まち・ひと・しごと創生総合戦略掲載事業進捗状況表

(4)ー3 自治活動・市民活動の活性化

番号	事業	概要	平成27年度 実施状況	平成27年度実績 (未実施の場合はその理由)	KPI (重要業績評価指標)	実績値 (H27)	総合戦略 策定時	目標値 (H31)	平成27年度事業評価	28年度 of 取組	備考
82	夢まちづくりセンター開設・運営	情報収集・情報提供、交流・ネットワークづくりなどの機能を持つ市民活動の拠点施設を開設するとともに、円滑な管理運営を行う。	実施(検討)中	10月に生涯学習センター内に「つしま夢まちづくりセンター」を開設し、各種講座を開催した。	津島市市民活動団体登録数(団体)	56	35	150	市民活動団体の特色あるまちづくり活動支援を実施する拠点を整備し、夢まちづくり講座を開催して、団体への支援を積極的に行うことができた。	市民活動団体の特色あるまちづくり活動支援を実施する。	
83	つしま夢まちづくり提案事業	市民活動団体が行う公益性のあるまちづくりを支援するための補助金を交付する。	実施(検討)中	様々な分野で活躍する市民活動団体の特色ある活動を支援するため「つしま夢まちづくりセンター」を設置した。センターでは市民活動に関する相談に対応するほか、特色あるまちづくり活動への補助や地域を担う人材育成のための講座を開催するなど、地域の課題解決やまちづくりにつなげた。	事業提案数(件)	34	-	40 (H27)	市民活動団体が行う公益性のあるまちづくりを支援するため「つしま夢まちづくり提案事業」を実施し、地域を担う人材育成のための講座を開催した。	「つしま歴史・文化のまちづくり提案事業」としてゾーン指定し補助金額を縮小して実施する。	地方創生先行型
					市民活動団体相談件数(件)	34	-	40 (H27)			
84	地域まちづくり計画支援	地域の課題解決に向けた取組みを進めるための地域まちづくり計画策定にあたって、スキル・ノウハウの提供、人材派遣を支援する。	実施(検討)中	地域の課題解決の取り組みの参考となるよう、大学教授を講師に招き、地域コミュニティの必要性と今後の向かうべき方向性についての講演会を平成28年2月に開催した。	-	-	-	-	協働のまちづくりの必要性、超高齢化社会に向けた地域コミュニティの必要性や地域の支え合いの重要性について、市民の方の理解が深めることができた。	市民の方に、地域団体としての役割や状況、地域団体リーダーの後継者確保や育成について考えていただくため、平成28年8月に協働のまちづくり講演会を開催する。	
85	地域コミュニティ団体支援	地域コミュニティ団体が地域ごとの判断と責任において事業展開ができる新たな補助制度を検討する。	実施(検討)中	これまで市が地域コミュニティ団体に、縦割りで交付してきた補助金などを整理統合し、地域ごとの判断と責任において事業展開ができるように、新たな補助制度を検討した。平成27年度は、地域コミュニティが実施した15事業に支援を行った。	-	-	-	-	住民の自主的なコミュニティ活動を通じた住みよい町づくりのため、各コミュニティ団体が実施する事業への支援及び活動拠点の運営支援ができた。	地域コミュニティ団体補助金の検討を行う。活動推進事業費補助金(8校区)施設管理費交付金(蛭間)活動拠点運営費交付金(東・南・北・神守・高台寺・神島田)	
86	町内会支援	公平で活力ある町内会活動を支援する補助制度について検討する。	実施(検討)中	219町内に支援を実施した。	-	-	-	-	各町内会が行う様々な活動に対する支援ができた。	より公平な町内会業務助成金の算出方法について検討する。	

津島市まち・ひと・しごと創生総合戦略掲載事業進捗状況表

番号	事業	概要	平成27年度 実施状況	平成27年度実績 (未実施の場合はその理由)	KPI (重要業績評価指標)	実績値 (H27)	総合戦略 策定時	目標値 (H31)	平成27年度事業評価	28年度 of 取組	備考
87	女性・若者をターゲットとした町家まちなか小商い創出支援事業	名鉄津島駅から津島神社の中心市街地エリアで空き家となっている町家をインキュベーション施設として改修し、女性や若者をターゲットとした創業支援を実施することにより、雇用機会の創出と定住促進を図るとともに、歴史ある町家の保存と中心市街地の活性化を図る。	未実施	平成28年度に事業を実施する。	小商い講座受講者数(人)	-	0	40 (H28)	-	津島創業者育成スモールスポット事業「つしまテンポラリー」として、創業を目指している方を対象に、出店者を募集、創業支援を行い創業を目指す。	加速化交付金
					市民によるSS事業延数(事業)	-	0	40 (H28)			
					インキュベーション施設から実店舗展開数(店舗)	-	0	2 (H28)			
88	「津島おもてなしコンシェルジュ」と現代版「津島OSHI」による津島“にぎわい”創出プロジェクト	<ul style="list-style-type: none"> ・まちを題材とした「写真コンテスト」、「短編小説コンテスト」を行うとともに、本市固有の魅力ある地域資源を小路を辿って巡れるように「小路巡りマップ」を作成する。 ・地域住民が「津島OSHI」として、「小路巡りマップ」も活用しながら、まちの魅力を統合型「情報交流システム」から情報発信出来るよう仕組みを構築する。また、まちの店舗・寺社等が来訪者・地域住民にまちの魅力を案内出来るように「まちの駅」の仕組みを構築する。 	未実施	平成28年度に事業を実施する。	津島おもてなしコンシェルジュ認定者数(人)	-	74	124 (H28)	-	<ul style="list-style-type: none"> ・「写真コンテスト」、「短編小説コンテスト」の開催 ・おもてなしコンシェルジュ育成講座の開催 ・「小路めぐりマップ策定部」において、小路めぐりマップを作成し、10,11月に体験ツアーを開催 ・情報交流システムを構築 ・津島の魅力を発信する「津島OSHI」を募集、津島OSHIが情報発信する。 ・「おもてなしステーション」を募集し、情報発信、交流の場として活動。 	加速化交付金
					津島OSHI登録者数(人)	-	0	150 (H28)			
					まちの駅登録数(箇所)(本事業終了時は仮登録)	-	0	100 (H28)			